



大谷 弥生



動画配信中

元気で輝くまち足利市に向けて邁進せよ！

次期足利市総合計画策定の際は、同計画に統合する形で足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略や足利市人口ビジョンなどを一本化できないか。

総合政策部長

総合計画と総合戦略の目標は、人口減少への対応や地域の活性化を図る地方創生の視点において重なる部分が多く、密接に関係していることに加え、人口ビジョンの視点も必要不可欠な要素となっている。そのため、次期総合計画には総合戦略、人口ビジョンを包含させる形で一体化したいと考えている。

電子書籍の導入

感染症などにより学校の長期休業や市立図書館等が休館となった場合でも子どもたちの読書環境を維持できるように、電子書籍を活用できないか。

教育長

電子書籍の活用は読書環境の充実のために有効と考えるが、導入に当たっては契約方法や運用方法に加え、子どもたちが発達段階に応じて自由に読書を楽しむために何をどのように指導するのかを明らかにする必要があることから、先進事例を参考に調査し、検討していきたい。



富永 悦子



動画配信中

人口減少対策について問う！

少子化の背景には、結婚や出産、子育て環境の変化など様々な要因があるが、それらを改善するための本市の取り組みと課題、対策を聞きたい。

市長

とちぎ結婚支援センター足利の開設や子育て世代包括支援センター事業の開始等により課題解決に取り組んでいる。コロナ禍において様々な支援が得られにくい状況もあるが、今後も悩みを抱える方々に寄り添い、安心して子育てができる環境の整備に努めていきたい。

CO2排出実質ゼロに向けた取組

国連の気候変動に関する政府間パネルの特別報告書を踏まえ、CO2の実質排出量をゼロにするため、本市においても取り組みを強化すべきではないか。

市長

国は、2050年までにCO2排出量を実質ゼロにするという政策目標を表明しており、これは本市のみならず地球規模で取り組むべき課題と捉えている。自然豊かな美しいまちである足利市を未来に引き継いでいくためにも、温室効果ガス削減の意識をさらに浸透させ、脱炭素型社会形成の基盤を固めていきたい。



小林 貴浩



動画配信中

市長の金券配布問題について問う！

市民がコロナ禍で大変なときに、市が開催する年末年始の行事が中止となっているにもかかわらず選挙ごとして人を集めようとした真意を聞きたい。

市長

例年、総会と例会を開催しているが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響により総会を中止したため、可能であれば例会を開催したいということで、同感染症の状況を考慮し、中止も視野に入れながら準備を進めてきたものである。

市民への説明責任

今回の件については、知り合いの市長や国会議員などからも驚きの声が上がっている。平成30年には、資金管理団体の会員113人から年間で1千342万円を集めており、8年間で1億円近い金額になると思うが、使途はどのようになっているのか。

市長

後援会への寄附や政治活動への使用など、適正に処理している。